

## ご意見・ご要望など

- 大変興味深く、勉強になりました。
- 議会報告会を年4回行えばどうか。
- 受付簿に名前は必要ないと思います。地域・年代くらいでいかかでしょうか。今後検討ください。
- 1人でも多くの市民がこのような報告会に参加できるように、議員・議会事務局職員がともに協力して取り組んでいただけたらと思います。
- 市民との距離がまだまだ遠く感じる。もっともっと身近に感じられる存在であってほしい。
- 基本条例第4条にある議員の活動原則をもっと実践してほしい。
- 議会や議員が全ての高島市の課題が分かっておられるなら、質疑の範囲を限定するとか、個人・会派の考えを述べなくてもよいと思うが、もっともっと市民の疑問や意見を聴く態度で臨むべきではないでしょうか。まだまだ「開かれた議会」には程遠いレベルだと思います。
- 今年度は今回開催の1回だけしか今のところ考えていないと返事がありました。年間1回だけなら「やりました」と既成事実を記録するだけで、今回制定された「議会基本条例」にも明記されている「市民の皆様に参加いただける場・・・議会報告会の開催」、また第2章「市民の意見等に基づく積極的な政策立案」などに最初から矛盾していると思います。また、担当議員の報告内容のみの質疑・応答は理解できますが、別に市政全般について広く市民の声を聴く時間を是非用意し、第2章「市民の意見等に基づく積極的な政策立案」に役立ててほしい。
- 医療の無料化（中学校まで）で助かっておられる方も多いですが、逆に頼りきって少しのことでも病院に行く方もいらっしや、市民の方の健康意識を低下させてしまう懸念があるのではないのでしょうか？ 並行して、自らが健康でいられるような活動を、高齢の方も含めてやる方がいいと思います。（運動を進めて体力づくり、食の見直し、みんなで集まって楽しく過ごす機会の増加等）
- 子育てを助けてくださるのであれば、へき地に住む子らが義務教育を受けるのに交通機関を整えてほしいです。特に、在原では中学校の下校時間によっては2時間以上もかかります。このような状態で子育てにやさしいまちとは言い難いです。
- 廃校になった学校を企業に無償で貸すのなら、市民にも無償で貸していただきたい。特に、マキノ北小学校の在原分校。
- 災害の対応について、東日本大震災から5年以上経つのに、あまり何も決まっていらないような対応で驚きました。避難経路がまだできないなら、できないなりに原発に備えてヨウ素剤を配布しておくとか、何かそれなりの対策を考えて実際に行動として示してほしいです。
- 議会は前向きに基本条例を制定され報告会を開かれたことは評価できると思います。しかし、参加者があまりに少ないのが残念です。

誌面スペースの都合上、アンケート結果は一部抜粋しています。詳細は高島市議会ホームページをご覧ください。